



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2026年5月号（642号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・教会行政法制委員会	3
・福音宣教司教委員会	3
・ラウダート・シ部門	4
・青少年司牧部門	5
・多文化共生司牧部門	6
・聖書・教理部門	6
・社会司教委員会	7
・広報委員会	8
・カリタスジャパン	9
・カトリック中央協議会事務局（総務）	11
公文書	11

常任司教委員会

■4月定例常任司教委員会

日 時 2026年4月9日（木）10：00～14：00
場 所 日本カトリック会館 アネックス4階 食堂
出席者 委 員 7人、事務局 7人

報 告

1. アジア司教協議会連盟(FABC)中央委員会参加について
2026年3月3日-4日にタイのバンコクで開催されたFABC中央委員会に参加した菊地 功枢機卿から、会議内容の報告が行われた。
2. キリスト教家庭の宣教をテーマとしたFABCシノドス会議参加について
FABC信徒家庭局主催で5月12日-14日にタイのバンコクで開催する「アジアにおけるキリスト教家庭の宣教に関するシノドス会議」に青少年司牧部門のアンドレア・レンボ司教を派遣することが報告された。
3. アジア ナショナルシノドスチームミーティング参加について
8月31日-9月4日にタイのサンプランで開催される「アジア ナショナルシノドスチームミーティング」にシノドス特別チームの小西広志神父、稲田伸也神父、高山 徹神父を派遣することが報告された。
4. 中央協議会事務局新入職員および人事異動、年度末の退職者について
カトリック中央協議会事務局の2026年3月31日までの退職者および4月1日付の新入職員・異動職員が報告された。

審 議

1. 「司教コレジアリタス積立金」制度の廃止について
カリタスジャパンの海外援助に該当しない諸外国からの援助要請に対応するために1985年から導入されてきた「司教によるコレジアリタス積立金」制度を廃止し、今後は援助資金を司教団関連の予算に計上し、諸外国から司教協議会に寄せられる援助要請に対応することを承認した。
2. 「海外支援に関する基本的枠組み」の一部改定について
「司教コレジアリタス積立金」制度を定めている「海外支援に関する基本的枠組み」の規定から、上記積立金の項目を削除した改定案を2026年度定例司教総会に諮ることを承認した。
3. 2027年WYDソウル大会への日本の教会の協力体制の基本方針について
2027年に韓国ソウルで開催されるワールドユースデーの準備として、日本の教会の協力体制に関する基本方針を承認した。6月の定例司教総会において、司教たちの共通理解を得る。
4. カトリック・タリタム日本の規約修正について
2月の常任司教委員会において、条件付きで日本カトリック司教協議会の公認団体となることを承認したタリタム日本から提出された修正規約案については、本常任司教委員会での諸意見を伝え、再検討を依頼する。
5. 2026年6月司教総会初日の「祈りの集い」の準備について
2026年2月の司教総会で、報告・審議日程に入る前に開催した司教による「祈りの集い」を振り返り、本常任司教委員会では出された意見を反映して6月司教総会初日に開催する「祈りの集い」の準備を行う。
6. 2026年度日韓司教交流会事前準備会報告と講師選出について
3月25日にオンラインによる2026年度日韓司教交流会事前準備会を開催した報告を同交流会日本側窓口の勝谷太治司教が行った。テーマ（「日本と韓国カトリック教会の移民・難民・外国人司牧」）に沿った講師候補に打診して準備を進める。
7. 中央協議会発行出版物の企画承認について
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
①書籍名：『わたしたちの希望であるイエス・キリスト——教皇講話集』
内 容：教皇フランシスコとレオ十四世が聖年の間に行った連続講話の文庫化
(ペトロ文庫による発行)
著 者： 教皇フランシスコ/教皇レオ十四世
訳 者：カトリック中央協議会事務局

- ②書籍名：『イエス・キリスト、神の子、救い主—ニケア公会議 1700 周年（325—2025 年）』
内 容：教皇庁国際神学委員会の文書の翻訳発刊
著 者：教皇庁国際神学委員会
訳 者：カトリック中央協議会事務局

教会行政法制委員会

■2026 年度第 1 回会議

日 時 2026 年 4 月 8 日（水）10：00—15：00
場 所 カトリック横浜司教館
出席者 6 人

審 議

1. （仮称）『カトリック教会法典』（改訂版）編集作業について
『カトリック新教会法典』における用語の見直しのため、これまでに確定された用語を参考に、現行の教会法典の第VI集を除くすべての集の確認を終えたので、これまでに保留としてきた用語や見落としした用語について検討した。

福音宣教司教委員会

■2025 年度 第 2 回福音宣教司教委員会

日 時 2026 年 2 月 20 日（金）9：30—11：00
場 所 日本カトリック会館 第 2 会議室
出席者 11 人
欠席者 1 人

報 告

1. 各委員会、部門の活動報告

審 議

1. 本委員会の方向性ならびに組織体制
分野の分かれる諸委員会を擁する本司教委員会が、連絡会にとどまることなく、福音宣教のための有効な働きをなせるよう、下記を軸に意見交換を行った。
 - ①年間あるいは複数年の、共通テーマ設定の是非
 - ②各委員会と部門の秘書や事務局を交えた拡大会議（特別臨時司教総会時）の実施

次回日程 2026 年 6 月（2026 年度定例司教総会 会期中）

ラウダート・シ部門

■2025 年度第 4 回会議

日 時 2026 年 3 月 29 日（日）16：00－30 日（月）16：30

場 所 日本カトリック会館 アネックス 4 階 食堂

出席者 8 人

欠席者 1 人

協 議

1. インテグラル・エコロジーの説明術

秘書によるインテグラル・エコロジーの概念説明の後、この用語を巡る見解や心情を共有しつつ、説明する際の工夫について意見交換を行った。

2. 部門の今後の方向性

これまでの経緯および現任務の確認を踏まえ、今後の方向性について意見交換を行った。

審 議

1. エコロジカルな教育に関連する取り組み

- ・カトリックの児童向け月刊誌『こじか』におけるシリーズ企画については、詳細を次回以降検討する。
- ・カトリック教育学会のラウンドテーブル、養成塾、日本カトリック小中高連盟主催のキリスト教研究会等におけるかかわりについては、鈴木委員を中心に進めることを確認した。

2. 2026 年「すべてのいのちを守るための月間」（9 月 1 日－10 月 4 日）企画

広島教区と連携し、10 月 3 日（土）にシンポジウムを計画する方向で進めることを確認した。

3. 『ラウダート・シ』の一般向け要約動画の準備

5 分程度にまとめた『ラウダート・シ』の要約動画を作成することとした。生成 AI 技術を用いたスクリプトをたたき台として準備する。また、生成 AI 利用に伴う電力消費への懸念を認識しつつも、資料となる公式動画をウェブ上で公開する意義を確認した。

4. FABC-CCD（気候変動デスク）からの依頼

2 月 24 日付で届いた、各地におけるエコロジカル・スチュアートシップ（創造主から人間に託された責任ある管理）の実践例の提出依頼に対し、日本として複数の具体例を挙げることが確認された。

■2026 年度第 1 回会議

日 時 2026 年 4 月 18 日（土）10：00－11：30

場 所 オンライン

出席者 8 人

欠席者 1 人

報 告

1. FABC-CCD（気候変動デスク）からの依頼

日本におけるエコロジカル・スチュアートシップ（創造主から人間に託された責任ある管理）の事例として、3 つの実践を挙げて提出を行った。

2. エコロジカルな教育関連の動き

8 月開催のカトリック教育学会におけるラウンドテーブルにおいて、日本の司教団が発表した『見よ、それはきわめてよかった——総合的なエコロジーへの招き』を教科書に採用して授業を行っている高校の紹介を行う方向で準備を進めている。

審 議

1. 2026年「すべてのいのちを守るための月間」(9月1日—10月4日)の企画
10月3日(土)午後、広島教区・岡山教会(岡山市)を会場としてシンポジウムを開催する。広島教区・平和の使徒推進本部・ラウダート・シ デスクからの計画案をもとに検討を行った。引き続き教区側と連携しつつ準備を進めることで了承された。

次回日程 2026年5月25日(月) 19:00—21:00 オンライン

青少年司牧部門

■WYD ソウル大会(2027年)日本巡礼团组织についての打ち合わせ

日 時 2026年4月17日(金) 15:00—16:30
場 所 オンライン
出席者 11人

会合の趣旨

WYD ソウル大会(2027年8月3日—8日)に向けた日本巡礼団の組織編成について、本部門が描いた構想を各地の青少年司牧者代表と共有し、意見交換を通して内容の確定を図る。

報 告

1. 「本大会」へと続く「教区での日々(教区大会)」について
申込用の公式ウェブサイトが4月5日に公開された(韓国語・英語)。
2. 巡礼団の募集と組織運営について
 - ①「教区大会」に参加する巡礼団は、本部門としては募集を行わず、教区または共同体単位での参加とする。
 - ②「本大会」への参加巡礼団については、本部門が募集および組織運営を行う。ただし、渡航手段は参加する個人・グループが各自で手配するものとする。現地集合・現地解散(ソウル市内または空港)とし、参加費は6万円~7万円程度とする見込みである。
 - ③週末のみのグループ(6日泊、7日野宿、8日解散)の募集については、現段階で未定とする。
3. 今後の予定
 - ①5月に参加希望者の仮登録フォームを公開する。
 - ②正式な募集開始に先立ち、2026年夏ごろに参加希望者向けのWYD説明会をオンラインで開催する。
 - ③秋以降に正式募集を開始(2027年4月初旬締め切り予定)。定員の設定については現時点では未定とする。

多文化共生司牧部門

■船員司牧(日本ステラマリス)会議

日 時 2026年4月6日(月) 15:00—17:00
場 所 オンライン
出席者 4人

報 告

1. 教皇レオ十四世の3月29日枝の主日「お告げの祈り」
メッセージ内の、船員とその家族の為の祈りが紹介された。
「 POPE LEO XIV ANGELUS St Peter's Square Palm Sunday, 29 March 2026 」
2. 2026年3月26日の横浜ステラマリス事務所訪問について

審 議

1. 船員の日メッセージとポスターについて
船員とその家族へ向けた祈りの部分を船員の日ポスターに使用することが申し合わされた。

聖書・教理部門

■2026年度第1回会議

日 時 2026年4月16日(木) 10:00-15:00
場 所 カトリック大阪高松司教館
出席者 5人

部門発足の経緯

司教協議会の組織改編に伴い、2025年度定例司教総会において「聖書・教理部門」が発足した。当部門は「福音宣教委員会」(委員長:中村倫明大司教)の下に置かれ、日本のカトリック教会の聖書と教理の諸課題に対応することとなる。

審 議

1. 聖書週間リーフレット『聖書に親しむ』について
1977年に聖書週間が始まり、かつては「聖書週間委員会」、「聖書使徒職委員会」、「聖書委員会」と名称や形態を変えて聖書や教理に関する諸課題に対応してきたが、1998年に解消して以来、聖書週間の対応は常任司教委員会に引き継がれ、リーフレット『聖書に親しむ』の編集・発行は事務局で行ってきた。今年度より、当部門がリーフレットの企画・編集を行うことを申し合わせ、テーマや執筆者は以下の通りとした。

◇2026年度聖書週間リーフレット『聖書に親しむ』

テーマ:もはや戦うことを学ばない(イザ2・4)

執筆者:スック・G・パオロ師(巻頭言)、山下 敦師(テーマ解説)、
阿部仲麻呂師(みことばを深める)

2. 今後の活動について

部門の発足に伴い、聖書や教理に親しんでもらうための機会として、2026年度の聖書週間終了日の翌日にあたる2026年11月23日(月・祝)に講座を企画することを申し合わせ、テーマ、講師、スケジュールの概要を検討した。具体的な内容については次回会合でも検討する。

◇聖書に親しむ講座

日時:2026年11月23日(月・祝)13時~16時

場所:大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂

講師:スック・G・パオロ師、山下 敦師、阿部仲麻呂師

次回日程 2026年7月9日(木)10:00-15:00 カトリック大阪高松司教館

社会司教委員会

■第10回 社会司教委員会 社会司教・事務担当者会議

日時 2026年3月18日(水) 13:00-17:00
場所 日本カトリック会館1階 ダイニングホール
出席者 11人

報告

第9回議事録の確認を行なった。

審議

1. いのち・平和・人権委員会

- 1) 委員として推薦する4名について、日本カトリック司教協議会会長宛に推薦状を提出する。
- 2) 専門委員の役割を確認した。
 - a. 必要時に、委員会にて専門分野に関する知見を述べる
 - b. メッセージ、声明文についての意見を述べる
- 3) 時宜に応じ、社会と教会員に向け、メッセージ(声明文)を発表する。
- 4) 外部会議派遣について検討を行った。
 - ①外部会議を以下三分類とする。
 - a. カトリック教会の参加を示すために責任役員者が出席すべきもの(司教または局次長)
外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ連)、部落問題に取り組むキリスト教連帯会議(部キ連)、同和問題にとりくむ宗教教団連帯会議(同宗連)、狭山事件の再審を求める市民集会・キリスト者前段集会、9条世界宗教者会議
 - b. カトリックの参加を示すために常時派遣者が出席し、意見を言うべきもの(派遣者)
NCC女性委員会、NCC靖国問題委員会、NCC平和核問題委員会、死刑を止めよう宗教者ネット、平和をつくり出す宗教者ネット、ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会、21世紀キリスト教社会福祉実践会議
 - c. 支援団体となるべきもの、総会出席のみ(派遣者)
平和を実現するキリスト者ネット、移住労働者と連帯する全国ネットワーク(移住連)、なんみんフォーラム、外国人 인권法連絡会
 - ②以上以外の関係団体は、原則会費等による支援とする。
 - ③新たに外部会議への出席の必要が発生した場合、参加可否と派遣者については、都度、社会司教員委員会にて審議決定する。

2. 2026年度予算案について

再検討を行った。主に「世界難民移住移動者の日献金」は、申請ベースとする。

3. 正義と平和協議会

2000年以前の資料の整理を検討する。

次回日程 2026年4月22日(水) 13:30-16:30

第1回いのち・平和・人権委員会 2026年5月20日(水) 10:30-13:30

(ハイブリッド形式、12:30より昼食)

広報委員会

■第2回広報委員会

日 時 2026年4月9日(木) 14:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 アネックス4階 食堂
出席者 7人、オンライン2人

報 告

1. 人事

2026年4月1日付で、広報に関わる以下の人事が交付された。

(1) 大久保 武神父(大阪高松教区)

カトリック中央協議会 広報部長 兼 出版局長/広報委員会秘書

(2) 石井祥裕(広報委員)

カトリックジャパンニュース(CJN)/カトリックジャパンダイジェスト(CJD)編集主幹

審 議

1. CJN/CJDの目的および編集方針の検討

2025年3月末のカトリック新聞の休刊を受け、CJN/CJDの発足に伴い、新体制に対応した編集方針について、その目的および方針の明文化を必要とするため検討を行った。本会議の指摘事項を踏まえ、再構成する。

2. 「カトリック中央協議会広報部広報課 特別寄付規約(案)」検討

2026年1月の常任司教委員会でカトリック中央協議会の広報活動継続のための意向寄付制度新設が承認されたため、受け入れ体制の整備の一環として規約案に関する検討を行った。本会議の指摘事項を加え再構成する。

3. CJN/CJDの現状評価と課題

サービスを開始して1年が経過したCJN/CJDに関して、評価と課題に関する意見交換を行った。

4. 職員採用検討

CJN/CJDを今後続けていくためには、現職員(編集者・記者)の後継者を育てることが急務だが、適任者に目途が立っていないことから、職員採用に向けての情報交換を行った。

次回日程 2026年9月3日(木) 14:00

カリタスジャパン

■3.11 仙台教区カリタスジャパン共催シンポジウム

日 時 2026年3月11日(水) 13:00-14:15
場 所 仙台教区カテドラル元寺小路教会 大聖堂
参加者 約100人(ミサ参加者約300人)
挨 拶 ガクタン・エドガル(仙台教区司教)
登 壇 成井大介(カリタスジャパン責任司教)、深堀 崇(大阪高松教区職員)、
園部英俊(元寺小路教会所属・仙塩メンバー)

テーマ「東日本大震災から15年～この経験から見えてくるもの～」

2011年3月11日の東日本大震災から15年がたった。震災直後の日本のカトリック教会は、「カトリック仙台教区サポートセンター」を設置し、包括的な支援体制を構築するとともに、各被災地域にカリタスペースが設置され、地域に根差した活動、地域と連携した取り組みが行われた。

シンポジウムでは当時のベーススタッフや、現在各地で教区の災害対応を行っている担当者らと、当時の状況や現状について振り返り、この大災害から受けた教訓を生かすため、今後取り組むべきことについて話し合われた。

■2025年度第6回事務局会議

日 時 2026年3月27日（金）14:00-16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 9人

報 告

1. 2025年度4月から2026年2月の募金動向について
2. 2026年2月、3月の援助案件について
3. 四旬節黙想会について
4. 中東各国の現状について

中東各国の現状について報告され、カリタスジャパンのウェブサイトやSNSを通して、各国の状況と現地のカリタスの対応について発信していくことを確認した。

審 議

1. 下記の事項について意見交換を行った。
 - ①4月以降の事務局体制と、4月9日-10日のキックオフミーティングについて
 - ②新規約制定の進捗状況と今後の動きについて
 - ③21世紀キリスト教社会福祉実践会議窓口の引き継ぎについて
 - ④福岡教区災害対応ワークショップについて
 - ⑤事務局リトリートについて
2. 4月8日開催のカリタスジャパン委員会の議事について審議し、決定した

■2026年度第1回 カリタスジャパン委員会

日 時 2026年4月8日（水）10:30-15:30

場 所 日本カトリック会館 1階 ダイニング

出席者 18人

欠席者 1人

審 議

1. 今後のスケジュールを確認するとともに下記事項について承認した
 - 1) 国内出張（CJ-ERST 福岡教区災害対応ワークショップ、新潟清心女子中学・高等学校講演）
 - 2) 海外出張（ラオス：カリタスラオスパートナーミーティング）

報 告

1. 2024-2027年 中期計画にもとづく活動の進捗状況
2. 前会議から今会議までに集まった募金額と件数
3. カリタスインドとのパートナーシップについての協議と実施案件の進捗確認

4. 3.11 東日本大震災から 15 年のシンポジウム（仙台教区カテドラル元寺小路教会）への参加及び、福島県浪江町なみとも「避難指示解除地域の駄菓子屋等子どもの居場所事業」、カリタス南相馬視察
5. カリタスのとサポートセンター運営会議参加とカリタス輪島応急仮設住宅イベント支援視察
6. カリタスのとサポートセンター運営委員会ボランティアバスパック企画について
7. ユースとの連携・南山大学（名古屋市）、聖マリア学院大学・看護学部（福岡・久留米市）のボランティア参加、サレジアン国際学園中学高等学校（東京・北区）からのインターン受け入れ、ラウダート・シ・ユースとの関わり
8. こどもの里「コロナ禍の子どもの居場所事業」終了報告
9. カリタスバングラデシュ「チッタゴン丘陵地帯における少数民族のための教育プログラム」（第 7 期）終了報告

援助審査

1. 国内緊急案件
 - 1) 五ヶ瀬自然学校の「希望の農園事業」に、2,000,000 円の支援を承認した。
2. 国内一般案件
 - 1) 難民自立支援ネットワーク（REN）の「行き場のない難民申請者たちの日本語教育と自分を取り戻す為の居場所づくり」に 1,850,000 円の支援を承認した。
 - 2) カリタス南相馬の「東日本大震災福島県南相馬市周辺における被災・避難者・困窮者支援」に 4,999,900 円の支援を承認した。
3. 海外一般案件
 - 1) カリタスキルギスタンの「天文学を通じた教育・開発・平和推進プロジェクト」に 17,910 ユーロの支援を承認した。
 - 2) カリタスモーリタニアの「モーリタニア刑務所被収容所の尊厳回復プロジェクト」に 50,000 ユーロの支援を承認した。

カトリック中央協議会事務局

■総務

5 月会議予定

7 日(木)	船員司牧(ステラマリス日本)会議	ウェブ会議
11 日(月)	衛生委員会	日本カトリック会館
11 日(月)	典礼委員会定例会議	〃
13 日(水)	リニューアルプロジェクト定例会議	〃
13 日(水)	WPP 分科会(家具・引越、IT・セキュリティ)	〃
14 日(木)	常任司教委員会	〃
14 日(木)	広報 3 部署会議	〃
20 日(水)	教会行政法制委員会	横浜司教館(神奈川・横浜市)
20 日(水)	社会司教委員会	日本カトリック会館
20 日(水)	WPP 分科会(家具・引越)	〃
21 日(木)	第 201 回日本カトリック学校教育委員会会議	ウェブ会議
21-22 日(木-金)	カリタスジャパン、緊急対応支援チーム、復興支援室会議	日本カトリック会館
28 日(木)	リニューアルプロジェクト事前定例会議	〃
28 日(木)	WPP 分科会(IT・セキュリティ)	〃

〈会報 2026 年 5 月号 公文書〉



「あなたにすべてに平和があるように」 社会司教委員会委員長

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/04/30/37968/>)



2026 年「世界宣教の日」教皇メッセージ (2026.10.18)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/04/30/37978/>)

カトリック中央協議会 「会報」 2026 年 5 月号 (通巻 642 号)

発行日 2026 年 5 月 10 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457